

授業概要

日本、アメリカなど主要国に所在する大企業の多くは、今日、本国のみならず諸外国でも活発に生産、販売などの活動を行っています。世界各国で活動をおこなう企業は、世界企業、多国籍企業などと呼ばれています。この講義では、世界企業（多国籍企業）の活動を対象として、国際経営を理論的・体系的に解説します。その際、電機・電子企業のソニー、自動車のトヨタ、などの具体的な産業企業（特に日本企業）の活動を事例として取り上げます。理論的考察を具体的な企業事例であとづけながら講義します。

授業計画

第 1 回	経営学と企業活動の国際化（1）－本講義の目的
第 2 回	経営学と企業活動の国際化（2）－企業の成長と海外進出
第 3 回	販売の国際化－間接輸出とは何か
第 4 回	販売の国際化－直接輸出とは何か
第 5 回	販売の国際化－間接輸出から直接輸出への移行
第 6 回	販売の国際化－ソニーのアメリカでの現地子会社の設立（事例研究 その1）
第 7 回	販売の国際化－ソニーのアメリカでの現地販売体制の構築（事例研究 その2）
第 8 回	中間試験
第 9 回	生産の国際化－現代日本企業による海外生産の概要
第 10 回	生産の国際化－現代日本企業による海外生産ネットワークの構築
第 11 回	生産の国際化－発展途上国での現地生産
第 12 回	国際戦略提携－基本概念
第 13 回	国際戦略提携－トヨタ自動車とジェネラル・モーターズの合併事業（事例研究 その1）
第 14 回	国際戦略提携－トヨタ自動車によるアメリカでの市場支配力の強化（事例研究 その2）
第 15 回	全体の総括
第 16 回	期末試験

到達目標

現代大企業の国際事業展開を学習し、世界企業、国際経営の理論と現実について体系的に理解出来るようになることを目標とします。

履修上の注意

（1）各章・節の要点を記載したレジュメ、および資料（統計、図表など）を出席者に配布します。講義はレジュメに沿って、その内容を解説しながら進めます。なお、毎回、出席者全員にその日の授業についての「質問・意見」を提出してもらいます。その中で特に重要と思われた疑問・論点などを選択して、翌週の講義の際に回答、ないし補足説明を行います。

（2）病気などの場合を除いて、毎回欠かさず出席してください。病欠、遅刻（電車の遅延などによる）の場合は証明書を提出してください。

予習復習

講義に出席するに先立ちレジュメを読み、予習してください（第 1 回講義を除く）。講義中はできるだけ多くノート（メモ）を取り、レジュメに書かれた要点と合わせてよく読み直し、復習してください。

評価方法

中間試験 50%と期末試験 50%で評価します。

テキスト

教科書は使いません。私が作成したレジュメ、資料を用いて解説します。参考文献は講義中に紹介します。